



2017年11月30日付

## 基準価額の推移



## 分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)
0円	0円	0円

## 基準価額の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.11%	11.11%	14.50%	20.21%	26.65%	52.00%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## チーフポートフォリオマネージャーより

### 受益者の皆様へ

11月は、銀行業の組入比率を大きく引き上げました。その要因は、PBR(株価純資産倍率)やPER(株価収益率)などのバリュエーションが割安であることに加えて、大きな「変化」の兆しを感じたことが背景にあります。具体的には、国内ではマイナス金利の深掘りが今後は限定的であり、これ以上の収益悪化を回避できる見込みであることや、メガバンク3行が店舗・人員削減などの“聖域のない”構造改革案を打ち出すことで、収益率を改善していく姿勢を明確に示したことなどです。また海外では、アメリカにおける税制改革や金融規制緩和の流れもあり、中長期的な観点から邦銀にも恩恵が及ぶと見えています。

株式市場は11月初旬に年初来高値を更新しましたが、12月以降に再度高値を更新する可能性もありそうです。引き続き、基本的には強気スタンスで臨んでいきます。



チーフポートフォリオマネージャー  
糸島 孝俊

## ファンドのデータ

基準価額	15,200円
純資産総額	4,444百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して  
います(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧ください)。  
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加に  
より逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、  
年率1.242%(消費税込)です。

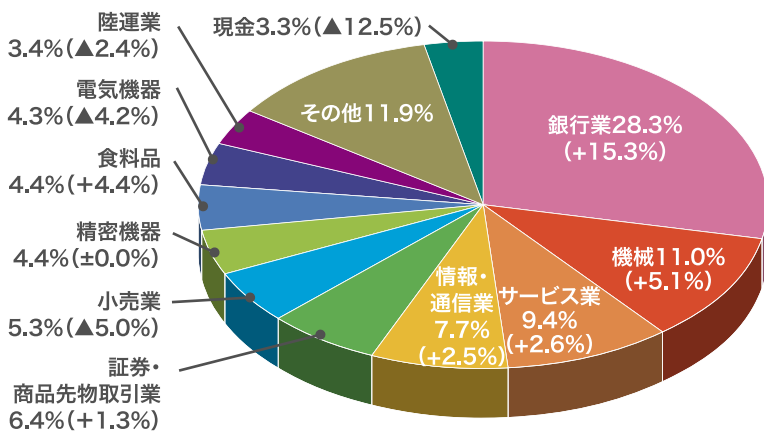
## ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	96.7%	12.5%
現金等	3.3%	▲12.5%
構成銘柄	54社	4社

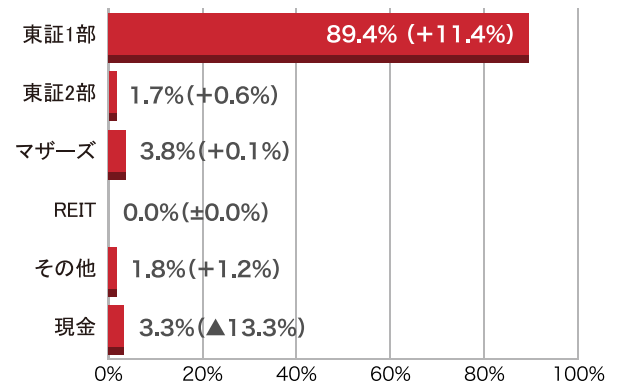
## 市場概況

11月上旬は、中間決算発表が本格化する中、通期業績見通しの上方修正や過去最高益を更新する企業が相次いだことなどから、9月以降の上昇基調を継続しました。日経平均は1996年6月の高値を上回り、9日ザラ場には年初来高値となる23,382円を付けました(大引け高値7日22,937円)。決算発表の一巡後は、米法人減税策の先送りや中東などの地政学リスク警戒感から、利益確定売りが膨らみ、16日の日経平均は22,000円を割り込む水準まで押し戻されました。下旬は、欧米株高が好感されましたが、中国景気の減速懸念などを背景に、これまで上昇をけん引してきた半導体関連株などの下落により、日経平均は22,500円を挟んで推移しました。

## 業種別構成比 ( )内は前月比



## 市場別構成比 ( )内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。 ● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## 運用状況

### ◎主な投資行動

月初は7日に日経平均が約26年ぶりの水準を回復して高値警戒感が広がる中、小売業や電気機器などを一部売却し、株式組入比率を70%弱まで一旦引き下げました。その後、日経平均が16日に22,000円を割り込む水準まで下落する局面において、銀行業を大幅に買い増し、同比率をフルインベストメントに近い99%程度まで引き上げ、もう一段の上昇に備えました。下旬は、堅調に推移した化学などを一部売却する一方で、出遅れ感の強い機械などを買い増し、同比率を概ね95%から100%の範囲でコントロールしました。月末の同比率は、北朝鮮などの地政学リスクを注視した上で96.7%としました。

### ◎ファンド月間リターンとその要因

11月の月間リターンは2.11%の上昇となりました。主な要因は前月までに組入比率を引き上げていた小売業や化学が上昇したことや、今月に組入比率を引き上げた情報・通信業が上昇したことなどによるものです。当ファンドは絶対リターンを重視しており、ベンチマークは設けていません。参考として、TOPIXは1.48%上昇、日経平均は3.24%上昇しました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

## 組入上位5銘柄の紹介

(2017年10月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
三菱UFJフィナンシャル・グループ		国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値は「信頼・信用」、「プロフェッショナルリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
銀行業	6.6%	
アスクル		法人向けサイトの「アスクル」を主に、一般消費者向け「ロハコ」などインターネット通販を展開。社名の由来は“明日来る”。オフィスに必要な事務用品から、生活消耗品、作業・研究用品などすべての仕事場に必要なモノやサービスを届ける。当日配送も可能。セブン&アイHDとネット通販事業強化で提携。
小売業	6.5%	
ユニ・チャーム		これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指す。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることが強み。
化学	6.0%	
ヤマトホールディングス		「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していくアジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待される。
陸運業	5.9%	
ソニー		井深大氏と盛田昭夫氏らによって設立されたベンチャー企業が前身。エレクトロニクス事業を出発点に、音楽・映画、ゲーム、金融と企業規模が拡大するなか、創業精神は失われ、国際競争力も大きく低下。現経営体制下で企業体質の変革が進みつつある。
電気機器	5.6%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。 ● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

## 未来予想図～20-20vision～

「ザ・2020ビジョン」は、中長期的な目線の「経営の変化」に着目したファンドです。我々は従前から「メガバンク(三菱UFJFG、三井住友FG、みずほFG)」こそ、「経営の変化」を起こそうとしている筆頭銘柄として高い組入比率を維持してきました(11月末時点銀行業組入比率28.3%)。

11月に開催されたメガバンクの第2四半期決算説明会では、3つのメガバンク全てが人員削減人数や目標達成期限を明確に発表するなど、かなり踏み込んだ計画を発表しました。当ファンドの組入上位にメガバンクが含まれていると、「銀行なんて経営の変化とは無縁なのになぜ投資しているのか」など、ごく少数ではありますが否定的なご意見を受けることがあります(四半期運用報告会では従前から何度も説明しているので、こうした質問を受けなくなりましたが、)。

今回の構造改革案は、人員削減や店舗数の削減など、今まで聖域とされてきた領域にもメスが入っているなど、高く評価できる内容だと考えており、上記のような疑念を少しでも払拭して頂ければ幸いです。

メガバンクを取り巻く環境は、次の5つの要因から追い風の様相を呈しています。

- ①FOMCの利上げ基調維持(内外金利差、円安効果圧力など)。
- ②米国での金融規制緩和(ビジネス拡大を伴う収益の拡大)。
- ③米国での法人減税法案の成立に現実味が帯びてきたこと(内需拡大に伴う収益拡大)。
- ④日銀のマイナス金利政策が深掘りされる可能性の低下(収益圧迫要因の軽減)。
- ⑤国際金融規制(バーゼルIII)の最終合意(資本規制面での不透明感払拭による株主還元策強化)。

メガバンクを中心とする銀行株が立ち上がれば、日経平均株価は11月9日に付けた年初来高値23,382円を軽く突破するほどの牽引力があると考えています。



シニアアナリスト兼  
ポートフォリオマネージャー  
鎌田 聡

## コモンズPOINTからのお知らせ

### ◎第32回全日本視覚障害者柔道大会

11月26日(日)、第32回全日本視覚障害者柔道大会(東京・講道館)を観戦しました。選手宣誓は、コモンズ8周年イベント(今年3月開催)にも登場くださった齋藤大起選手でした。参加選手も増え、観客席は満席。外国人選手の参加もあり白熱した対戦が繰り広げられました。取材に来た報道陣も50社以上!2020年に向けて益々の盛り上がりを感じた今回の大会でした。

### ◎次期応援先最終候補者3団体を発表

ファンド5期目の応援先選定プロセスがスタートしました。

候補者1(新規):(特)日本パラ・パワーリフティング連盟

候補者2(新規):(一社)日本知的障害者水泳連盟

候補者3(継続):(特)日本視覚障害者柔道連盟

12月18日ファンド決算日時点におけるザ・2020ビジョン受益者に対し、12月19日以降に選定協力をお願いのメールをお送りします。推薦のご協力、お願いいたします。推薦募集期間は、2018年1月11日までです。今回の最終候補者団体詳細については、下記ブログをご参考にしてください。

<https://park.common30.jp/2017/12/point.html>

わたしたちコモンズ投信は、障がい者スポーツ競技団体の活動に伴走させていただくことは、ダイバーシティに富んだ豊かな未来を共創することに繋がると確信しています。



第32回全日本視覚障害者柔道大会  
開会式の様子



こちらは8周年イベントに来てくださった  
石井選手と、半谷選手とPOINT担当馬越

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

## お知らせ

### ◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
【4周年記念】 ザ・2020ビジョン ファンド説明&運用報告会	1月13日(土)	18:30～20:15	愛知県名古屋(ウイックあいち)
	1月14日(日)	13:30～15:15	大阪府大阪市AP(AP大阪梅田茶屋町)
	1月21日(日)	14:00～15:45	福岡県福岡市(アクロス福岡)
	1月27日(土)	13:30～15:15	東京都中央区(FinGate)
コモンズくつろぎ新年会～POINT応援先が登場!～	1月23日(月)	19:00～21:00	東京都中央区(カフェサルバドルビジネスサロン)
つみたてを活用した 「普通の人」のための資産づくりのポイント (ファンド説明会)	12月16日(土)	14:00～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	12月27日(水)	19:00～20:30	
	1月17日(水)	19:00～20:30	
	1月20日(土)	14:00～15:30	
	1月30日(火)	19:00～20:30	

### ◎お知らせ～「贈る喜び&つみたて」2つの嬉しいキャンペーンスタート!～

「贈る喜び&つみたて」キャンペーンでもれなく500円の図書カードプレゼント!

<https://www.common30.jp/files/uploads/campaign-chirashi-k4.pdf>

年末年始恒例「贈る喜びキャンペーン」が11月よりスタート。すでにお口座をお持ちの方から、ご紹介いただいたご家族・ご友人様が口座開設をしてみただけプランを同時申込すると、両者にもれなく500円の図書カードをプレゼントいたします。

また、同期間でつみたてキャンペーンも実施します。すでに当社で口座をお持ちの方が総額3000円以上の新規つみたて・もしくは増額をされた場合も、プレゼントの対象となります。税制優遇制度であるNISA、つみたてNISA、ジュニアNISAも同時受付可能です!

## 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行 登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社 金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
宇都宮証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				

## ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

### お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)

**03-3221-8730**

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階